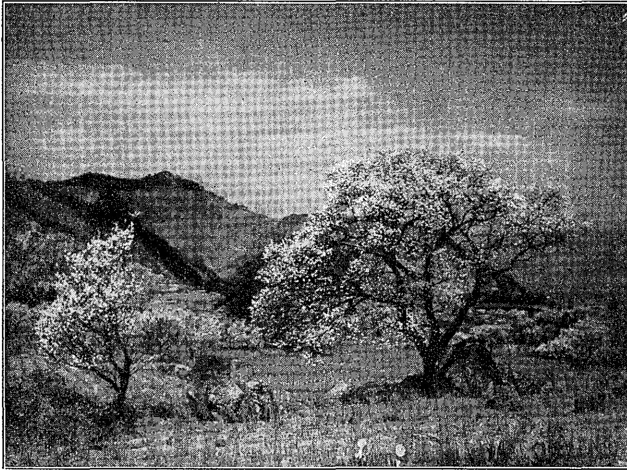

第 7 圖　珠數杏ノ花盛（其二）

ノ形狀ヤ其數ニ異狀ノアルモノガ多イ。又一花中ニ 2 個ノ雌蕋ヲ有シ双果ヲ爲スモノナドモ稀ニアル。更級郡川中島村鹽入氏方ノモノナドハ其例ニ當ル。

雜　錄　Miscellaneous

蓬萊島ニ地衣ヲ尋ネテ（其二）

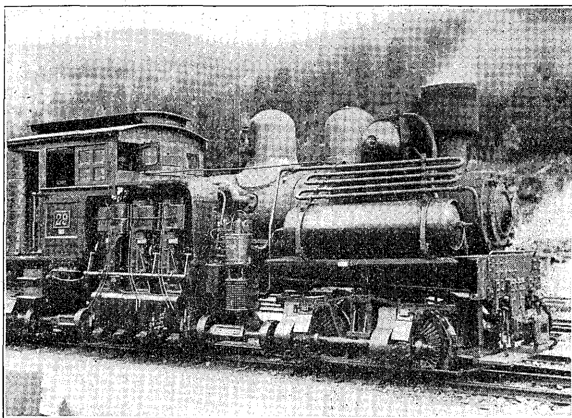
佐　藤　正　己

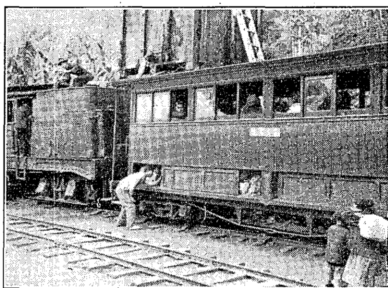
南端鵞鑾鼻ノ見物ヲ了ヘルト、一般遊覽客ノ公式的ナ四重溪溫泉一泊ノ行程ヲ省略シテ相當ノ無理ヲシテ臺南マデ引返シタ。ソレハ臺南市デ大キナ病院ヲ經營シテ居ラレル同鄉ノ庄司氏ノ御一家ガ心カラナル歡迎ノ支度ヲシテ待ツテ居ラレタカラデアル。臺南デノ一夜ハ私事ニ屬スルカラ詳シク書クコトハヤメテオク。

翌二十日ハ流石ニ連日ノ疲レデ何トナク懶イ氣持ダツタガ、庄司氏ノ御好意デ用意サレタ自動車デ臺南市中ト郊外ノ安平港ノ見物ニ出掛ケタラスツカリ元氣ヲ取戾スコトガ出來タ。臺南及ビ安平ハ臺灣トシテハ最初ニ開ケタ土地ダケアツテ臺灣古來ノ文化ノ跡ヲ偲ブニ最モヨイ所デアル。然シソレモ植物ニハ大シテ關係ノナイコトダカラ、此處デハソノ巡見記ヲ割愛シテ先ニ進マナケレバナラナイ。

サテ私ハイヨイヨ阿里山登山ノ途ニ就クコトニナツタ。今回ノ臺灣採集旅行デ最モ期待

ヲカケタ地點デアルカラ、其處デノ成績ニヨツテコノ一個月ニワタル旅行ノ成功カ不成功カガ決定スルワケデアル。マヅ嘉義市ニ行ツテ營林所出張所デ採集ノ許可並ビニ種々ノ參考資料ヲ得タイト思ツテ長友所長ニオ會ヒシテオ願ヒシタラ、實ニ夢想ダニシナカツタ厚遇ヲ受ケ、同所ニ勤務シテヰル植物ニ詳シイ藤崎氏ヲ案内ニ出張サセテ下サルコトニナツタ。ソコデ早速藤崎氏ト別室ニ退イテ種々打合セヲスマセ、營林所ノ倶樂部宿舍ニ泊ルコトニナツタ。タツタ一人デトボトボ山ニ登リ、乏シイ財布ノ紐ヲ握リシメナガラ人夫ヲ雇ヒ、宿屋ノ支拂ヒト茶代ニ頭ヲ惱マシナガラ阿里山ノ採集ヲヤラナケレバナラナイト覺悟シテキタノニ、植物ニ明ルイ人ガ案内ニ立チ茶代ノ何ノト心配ノイラヌ廉イ倶樂部ニ泊メテイタヾキ、人夫ハ營林所ノ方デ心配シテ下サルト云フ、マルデ乞食ガ一躍シテ殿樣ニナツタヨウナ氣持ガシタ。喜ビ勇ンデ町ニ出テ果物ヤ菓子ヤ寫眞材料ナドヲ買入レテ早ク床ニ就イタ。

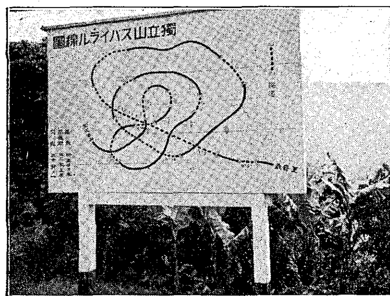

第 9 圖　阿里山森林鐵道ノ機關車（アル寫眞ニヨル）


第 10 圖　阿里山森林鐵道ノ客車（筆者撮影）

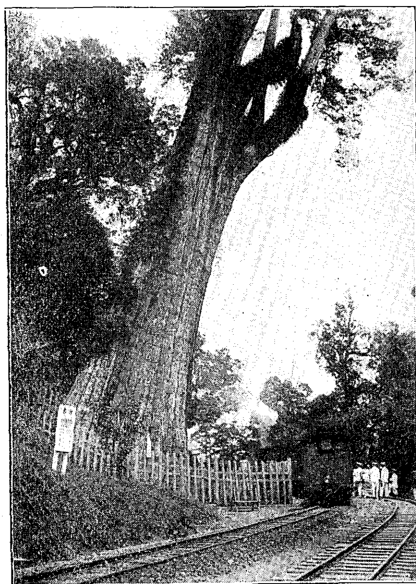
二十一日早朝ニ藤崎氏ガ迎ヘニ來テ下サツタ。臺灣ノ南部ハ冬ガ乾燥季ナノデ毎日ヨイ天氣デアル。躍ル旭日ノ光ヲ浴ビテ意氣揚々ト嘉義北門驛カラ森林鐵道ヲ利用シテ登山スルコトニナツタ。サテコノ森林鐵道ノ機關車ハト見レバ實ニ奇妙ナ仕掛ニナツテヰル。寫眞ニ示スヨウニ車輪ハ齒車式ノ刻ミガアルシソレニ piston ガ縱ニツイテヰル。我々素人ニハヨクハ分ラヌガ、線路ノ最小曲率半徑ガ 30m デ全線到ル處ニ急勾配ガアリ最急勾配十六分ノ一ト云フヨウナ惡路ヲ運轉スルニハ、カウ云フヤヤコシイ構造デナイト役ニ立タヌラシイ。線路ノ幅ハ 76 cm デアルガ「レール」ハ相當ノ重量ノモノヲ使ツテヰルシ、各車輛ニハ空氣制動機ガ完備シテヰルノデ先ヅ安心シテ乘レル。コノ線ハ明治四十三年四月ニ藤田組ガ計畫起工シ、ソノ後營林所ガ引繼イデ大正元年十二月全通シタモノデアルガ、建設當時ハ實ニ殉難ト事故ノ連續デアリ、森林鐵道デハ一般乘客ヲ取扱ハズ、特ニ頼メバ乘セテハクレルガ生命ヲ保證シナイト云フ物騷ナモノデアツタラシイガ、現在デハ殆ンド事故モナク他ノ線ト同樣ニ料金ヲトツテ客ヲ乘セテヰル。優待乘車券ヲ交附サレタノデ柄デモナク二等車ニ

乘ツタ。三等車ノ方ハ苦力ガ乘ルノデ相當汚ク、又特有ナ臭氣ヲ發スルノデ閉口デアル。何レニシテモ木材運搬ガ第一デ人間ハオ情ケデ運ンデモラフヨウナモノデ客車ハ僅ニ二臺シカツケテクレナイ、シカモ朝ノ一列車ニシカツケナイノデアル。愉快ナコトハ三等車ハ床ガ高クナツテキテ床下ハ倉庫ニナリ車外カラ出シ入レガ出來ルヨウニナツテキル。

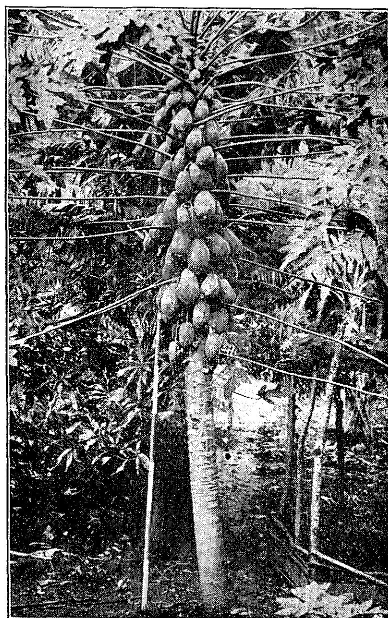
阿里山森林鐵道ノ起點ニアタル嘉義市ハ海拔僅ニ 30 m デ、ソレカラ海拔 125 m ノ竹崎驛マデハ大シタ登リモナイガ、竹崎カラガイヨイヨ本式ノ登リデ山線ト呼バレル。樟腦寮驛 (536 m) ヲ過ギルトヤガテ有名ナ獨立山ノ「スパイラル」線ニナル。グルリグルリト第七號カラ第十六號マデ十箇ノ隧道ヲクヾツテ、延長 4500 m 勾配ハ二十分ノ一デ、ソノ高低差ハ 227.5 m ニ達スル。ヤガテ梨園寮驛ニツクガ、此處ガ熱帶林ト暖帶林トノ境界ニナル。ソレカラ奮起湖 (1435 m) ヲ經テ十字路 (1534 m) ニ着イタ。此處ハ嘉義カラ阿里山ニ行ク鐵道線路トとふや蕃社及びららち蕃社ニ行ク道トガ交叉スルノデコノ名ガ起ツタラシイ。停車時間ハ一般ニ長ク、ソノ時間ヲ利用シテ附近ノ



第 11 圖　獨立山スパイラル圖線（筆者撮影）



第 12 圖　阿里山ノ御神木（アル寫眞ニヨル）



第 13 圖　木瓜（アル繪葉書ニヨル）

住民ガ果物ヤ食料品ヲ賣リニクル。大キナ木瓜（パパイヤ）ヲ十錢デ仕入レテ後生大事トカヽヘコミ、丘ノ上カラ物珍ラシゲニ眺メテキル蕃人ニ銃先ヲ向ケナガラ用ヲ足シテキルト、モシモシ間モナク發車シマスカラト車掌ガ態々迎ヘニ來テクレタ。

順位	名稱	周圍	所在地
1	蒲生ノ大樟	22.4 m	鹿兒島縣姶良郡蒲生村
2	上城井ノ樟	21.8	福岡縣築上郡上城井村
3	北來里ノ大公孫樹	21.2	朝鮮忠清南道北來里
4	高岡ノ七本杉	20.0	富山縣高岡市末廣町
5	阿里山ノ神木	19.4	臺灣臺南州阿里山

時ハ正ニ一月、地ハ海拔1500 m、內地ノ山ダツタラ數尺ノ雪ヲ被ッテキルコトダラウガ、此處臺灣デハ小春日和ノヨウナ暖カサデアル。平遮那驛 (1720 m) ヲ過ギルトイヨイヨ溫帶林トナル。更ニ登レバ二萬平驛 (1999 m) ガアリ以前ハ此處ガ終點ダツタトカ。「スイツチバツク」シテ登ツテ行クト神木驛 (2150 m) ガアル。驛ノスグ前ニ有名ナ御神木ガアル。立札ニヨレバコノ御神木ハ次ノヨウナ記錄ヲ有スル。學名：*Chamaecyparis formosensis* MATSUM.。樹齡：3000年。樹高：53 m。枝下：13.6 m。目通周圍：19.4 m。地上周圍：34.3 m。材積 500 立方米。ナホソノ傍ニ本邦巨樹番附ガアルガソレニヨレバ阿里山ノ御神木ハ第五位デアル。

汽車ハ御神木ノ前デモウ一度「スイツチバツク」シテ登ルトイヨイヨ終點沼ノ平ニツク。此處ハ海拔 2274 m デ嘉義トノ高低差ハ實ニ 2244 m、ソレヲ「スパイラル」線又ハ「スイツチバツク」デウネウネト登リ、隧道ノ數ハ62箇ソノ延長 9 km. シカモ機關車ハ後カラ客車ヲ押上ゲルノデ大シテ黑クモナラズ、約七時間デ悠々周圍ノ景色ニ見トレナガラ身ハ早ヤ雲上ノ人トナリオホセタワケデアル。ソレハ夢デハナクテ、昭和ノ御代ノ現實デアル。

阿里山上ノ營林所關係者ノ宿泊所ニ入ツテ少憩スルト、先程カラグヅグヅシテキタ天氣ガ本式ノ雨ニナツタノデ、今日ハ先ヅユツクリ英氣ヲ養フコトニシテ旅裝ヲ解イテ落着イタ。オ粗末ナ宿舍デハアルガ疊ハ新シイシ、御馳走モ相當ニアリ、誰ニ氣兼スル必要モナイノデ我々ニハモツテコイデアル。緣側ガ非常ニ廣イノデ明日カラハ此處ニ一杯地衣ヲ擴ゲテ乾カシテヤラウト一人胸ノ中デ計畫ヲタテタ。戰場ニ向フ兵士ノヨウニ、明日カラノ採集ヲ思フト何トナク武者振ヒニ似タ興奮ヲ覺エル。ZAHLBRUCKNER ノ論文ニアゲテナイ地衣ヲ見ツケルコト、珍品ヲ搜シ出スコト、臺灣產地衣類ニ親シムコト、其等ハ何レモ重要ナ目的デアルガ、結局ハ最モ熱心ニ眼ヲ皿ノヨウニシテ採集ヲスレバ果サレルコトデアル。阿里山ノ地衣共ヨ、明日コソハ我ガ腕前ヲ見セテヤルゾ。

昭和十一年一月二十二日、早朝ニ起キ出テミタモノノ無情ニモ雨ハ依然トシテ降ツテキル。時日ノ少イコトト、採集慾ニハリキツテキルコトデ、私ハ雨中ノ採集ヲ決行スルコトニシタ。藤崎氏・造林主任ノ木場氏・人夫ノ宇井氏ト四人連デ木場氏ノ愛犬やまヲオ供ニシテ勇マシク出立シタ。海拔 2300 m ノ地デ雨ニ降ラレナガラ採集シテモ大シテ寒イトハ思ハナカツタガ、タヾ空氣ガ多少稀薄ニナツテキルノガ坂道ニカヽルト如實ニ感ジラレタ。

一番最初ニせんにんごけノ類ガ出テキタ。「コレデモ地衣デスカネ。せんにんごけトハ妙

ナ名デスネ。ウン、此處ガ取リ易イゾ」ト手製ノ採集具デ古場氏モ負ケズニ採集ヲ始メタ。1 km モ進マヌ中ニ布ノ袋ガ早ヤ一ツ一杯ニナツタ。*Cladonia, Parmelia, Usnea, Alectoria, Anaptychia* ト流石ハ地衣ノ寶庫ダケアツテ續々ト種類ガ殖エル。汽車ノ通リスギルノヲ待ツテ眞暗ナ隧道ヲ越スト間モナク線路ノ傍ニ倒レタ木ノ枝ニ澤山ノばんだいきのり(*Alectoria sulcata* NYL.) ヲ見ツケタ。本種ハ内地デハ大シテ珍ラシイモノデハナイガ、臺灣ニアルコトハ未記錄デアル。ばんだいきのり臺灣阿里山ニ產ス!! コレデ臺灣產地衣類ガ一ツ增シタコトニナル。サテソノ後ニ來ルモノハ?



第 14 圖　雲海上ニ聳エル新高山ニひのき、べにひノ林ト集材機ヲ配シタ紀念スタンプ。集材機ノ觸手ハ山カラ山ヘ、谷カラ谷ヘト延バサレ、カクテ、アラユル場所デ伐採サレタ巨木ハ次々ト集メラレルノデアル。

雨ハ益々ヒドク獲物デ重クナツタ布袋ヲブラ下ゲル手ハ赤クフクレテ次第ニ感覺ガ鈍クナツテキタ。愛犬やまモビショヌレニナツテ尾ヲ垂レテ元氣ガナイ。折角準備シタ大形ノ寫眞機モコノ天候デハタヾ肩ヲ痛メルバカリデアル。宇井氏ノ背中ニハ辨當ガ四ツ用意サレテルガ開ク場所モナイ。採集ヲヤメテ一行ハタヾ線路傳ヒニマツシグラニ兒玉山ノ宿舍ヘ急イダ。其處ニハ勢ヨク燃エル火ト暖イオ茶ガ我々ヲ待ツテヰテクレル筈デアル。

阿里山ノ宿舍ヲ出ル時ハ兒玉倶樂部デ晝食、午後ハ更ニ進ンデ石山方面マデ行キ引返シテ兒玉ニ泊ルト云フ豫定ダツタガ、雨ノタメニ午後ノ豫定ハ中止シテ着物ト標品ノ乾燥ニ着手シタ。紙袋ハベトベトニヌレテ中味ガハミダシテ了ツタノデ、我々ハ緣側ニござヲ敷イテモラツテ屑屋ノヨウニ地衣ノ選リ分ケヲヤラナケレバナラナクナツタ。宿ノ婆サンハ半バ呆レタヨウナ顏ヲシテ何時マデモ見物シテ居タガ、舊正月ヲネラツテ麓カラ登ツテキタ吳服行商人ハ屑屋ヲ相手ニシテモ商賣ハデキヌト見タカサツサト引込ンデ行ツテシマツタ。


第 14 圖　阿里山トンボ線石山附近ニテ、向ツテ右ヨリ筆者、木場、藤崎、宇井ノ諸氏。貨車ニツマレタべにひノ巨木ガ後ニ見エル。
(昭和十一年一月二十三日　藤崎早苗氏撮影)

南部臺灣ハ今ガ乾燥ナ筈ダツタガ、山地ノ天候ハ又格別トミエテ翌日モ天氣ハヨクハナカツタ。何時雨ニナルカ分ラナイ泣キ出シサウナ空ヲ眺メテ我々ハ出發シタ。木場氏ノスバラシイ「レフレツクス」モ、藤崎氏

ノ祕藏ノ「トロナ」モ私ノ大型寫眞機モ小型寫眞機モ共ニ待機ノ姿勢デ二日間、一寸明ルクナツタカト思フトスグ雲ガ出テクル、霧ガカヽル、自信ノ强イ天狗寫眞師連モコノ天候デハ腕前ヲ示スコトガ出來ナカツタ。

新高登山道ニ沿フテ石山ノ方ニ向ヒ、晝マデ前進ヲ續ケテ人夫小屋デ用意ノ辨當ヲ開キ小憩シテカラ兒玉マデ引返シ更ニ森林鐵道デ二日ブリデ阿里山ノ宿舍ニ戻ツタ。みやげ物ヲ買ツタリ、繪葉書デ方々ニ近況ヲオ知ラセシタリシテ一寸和カナ氣分デ一夜ヲ明カシタ。

一月二十四日、今日デ阿里山ニツイテカラ四日目デアルガマダ天候ハ恢復シナイ。木場サンノ精進ガ惡イカラ雨ガ降ルンダ、イヤ今マデハ良カツタンダガ君等ガ登ツテ來タ日カラ惡クナツタノダカラ君等ノ精進ガ惡カツタノダラウ、トオ互ニ責任ヲ問フテ見テモ依然トシテ空ハ晴レサウニモナイ。マヽヨ、今日モ亦ビシヨヌレニナレト、少シク自暴自棄ノ傾向ニナツテ霧ヲツイテ出發シタ。しべりあノ曠野ニ流刑人ヲ運ブニフサハシイヨウナ、辛ウジテ客車ト呼ビ得ル箱車ニ乘ツテ眠月驛方面ニ向ツタ。コノ線ハ塔山線ト呼バレ專ラ運材ノタメニ運轉サレルモノデ一般乘客ハ殆ンド絕無デアル。コノ線ノ塔山線驛コソハ我ガ帝國最高ノ驛デ實ニ海拔 2346 m デアル。國有鐵道ノ最高驛ハ小海線野邊山驛デアルガソノ高サハ 1346 m デ問題ニナラナイ。

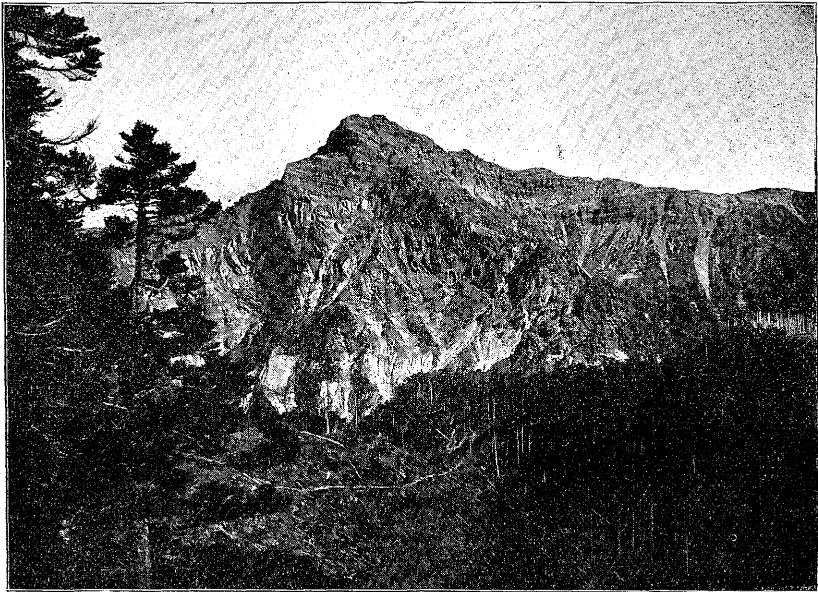


第 16 圖 阿里山烏松坑ノ岩壁ニ生ジタ *Stereocaulon Sasakii* A. ZAHLBR. ノ群落（昭和十一年一月二十四日藤崎早苗氏撮影）

眠月驛デ下車、汽車ガ引返スマデ三十分バカリ附近デ採集シ、再ビ乘車シテ達磨岩ノ附近デ途中下車シ、ソレカラ線路ニ沿ツテ徒歩デ採集シナガラ阿里山ニ戻ルコトニシタ。此ノ方面デハ岩石着生ノモノガ多ク、殊ニきごけノ數ガ多カツタ。*Stereocaulon Sasakii* A. ZAHLBR. ソノ他ガ純粹ノ群落ヲナシテ實ニ立派ニ生育シテキタ。此處デモ天候ガ惡カツタ

ニモ拘ラズ藤崎氏ノ "Torona" ガ優秀ナ性能ヲ發揮シタ(第16圖參照)。其他 *Lecanora gelida* (L.) ACH. ノ有子器ノモノヤ、うらきげじげじごけ (*Anaptychia heterochroa* VAIN.) ヤ色々ナモノノ立派ナ標本ヲ多量ニ採集スルコトガ出來タ。種類ノ數ハ大シテ多クハナカツタガ、量ハ前日ヨリモ多クトモ少クハナカツタ。マヅ上乘ノ首尾デアラウ。

阿里山ニ來テ四日ニモナルガマダ新高山ノ片影ダニ仰グコトガ出來ナイ。昨日モ一昨日モ兒玉ノ新高山展望所ヲバ咫尺ヲ辨ゼヌ霧ノタメニスゴスゴト引退ラナケレバナラナカツタ。今日コノ塔山ノ展望所カラ見ルコトガ出來ナケレバアトハ機會ガナイ。積雪ノタメト人夫ヤ入蕃許可ノ手續等デ新高登山ヲ中止シナケレバナラナカツタコトハ潔ク諦メルトシテモ、ソノ雄姿ヲ仰ギ見ルコトナシニ臺灣ヲ去ルトハ餘リニモ情ナイコトデアル。折柄空ハヤヽ明ルクナツタノデ、我々ハ展望所ノ立札ノ傍ニドツカト腰ヲ下シテ晴レルノヲ待ツタ。刻々ト新高ノ方ハ雲ガウスレテユク。コノ調子ナラシバラク待テバ撮影可能ラシイト又シテモ天狗連ハ揃ツテ寫眞機ヲ用意シタ。木場氏ハ手製ノ "Reflex"、藤崎氏ハ "Torona" ノ手札判、筆者ハ愛用ノ "Baby pearl"、三者三樣ノ身振ヨロシクカマヘタ。三十分バカリモ待ツタ甲斐ハアツテ、遂ニ新高ハ雪ノ粧ヒモ美シクソノ全貌ヲ惜シ氣モナク我等ノ眼前



第17圖　新高山ノ雄姿。水成岩ヨリナリ、地層ガ明瞭ニ表ハサレテヰル。(アル夏ノ寫眞ニヨル)

ニ展開シタ。南山、北山、東山、西山ノ四峰ヲヒカヘテ主山ハ白銀ノ峰ヲ中天高ク聳立サセテヰル。始メテ仰グ新高ノ勇姿、氣ガツイテ見ルト興奮シタ筆者ハ新高ノ色々ナ場面ヲ矢繼早ニ20枚モ撮影シテヰタ。不斷ハ一日歩キ廻ツテモ10枚位シカ撮ラナイ不精者ナノニ。

採集品ハ多イシ、新高山モ心ユクマデ眺メタシ、スツカリ滿チ足リタ心持デ我々一行ハ斜陽ヲ浴ビテ阿里山ニ引揚ゲタ。阿里山ニサヨナラスル日モイヨイヨ近ヅイテキタノデ、オ菓子ヲ買ツテ若イ人達ヲ集メテ夜ハ愉快ニ談笑シタ。

阿里山頂デノ活動ハイヨイヨ二十五日ダケトナツタ。臺灣ノオ正月ハ舊暦ナノデ丁度昨日ガ元日、今日ハ二日デ本島人ノ人夫ガ休ムノデ仕事ガ出來ズ監督ノ內地人ハ閑ダト云フノデ木場氏ノスヽメデゾロゾロツイテ來ラレタ。何時モノ四人ニ更ニ數人ヲ加ヘテ賑々シク出發、原生林遊步道路ヲ經テ二萬平驛ニ下リ、ソレカラ線路傳ヒニ登ツテ阿里山ニカヘルト云フ道ヲトツタ。コノ日ハ主トシテ蘚苔類ヲ採集シタ。原生林ハ地衣類ガ生育スル程ニハ光線ガサシ込マナイノデ、主トシテ羊齒類ト蘚苔類トガハビコツテヰル。タヾコノ日ハやいとごけ (*Solorina simensis* Hochst.) ヲ採集シヨウト思ツテ血眼ニナツタ。コノ地衣ハ實ニ珍品デ支那ノ雲南省ト Himalaya 及ビ Abyssinia ニシカ知ラレナカツタモノデアルガ、去ル大正十四年十二月十六日朝比奈博士ガ阿里山二萬平カラ沼ノ平ニ向ケテ鐵道線路ニ沿ツテ採集シナガラ步イテ居ラレタ時ニ偶然發見サレ我ガ國ニモ產スルコトニナツタ。コノ珍品ヲ何トカシテ再ビ採集シヨウト思ツテ一行ノ方々ニヨク說明シ、自分モ亦注意深ク搜シ廻ツタ。遂ニ最初ノ發見者ニハ羊羹二本ヲ進呈スルト云フ懸賞ヲ出シタノデ、一行ハ益々活氣ヅイタ。アツ、見ツカツタ、ト幾度カ贋物デ糠喜ビヲシテ一同ガ倦キタ頃ニ今日始メテ採集隊ニ加ツタ山下伊三郎氏ガ、佐藤さんコンナモノガアリマシタヨト差出サレタモノヲ見ルト、コレゾ正シクやいとごけデアル。コレデス、コレデス、一體ドコニアリマシタ? トアワテヽ引返シテ捜シテ見ルト、アルハアルハ。



第 18 圖　かはかみうすゆき (*Leontopodium microphyllum*) ニ高山蝶及ビ天然紀念物みかどきぢヲ配シタ阿里山高山博物館ノ紀念スタンプ。

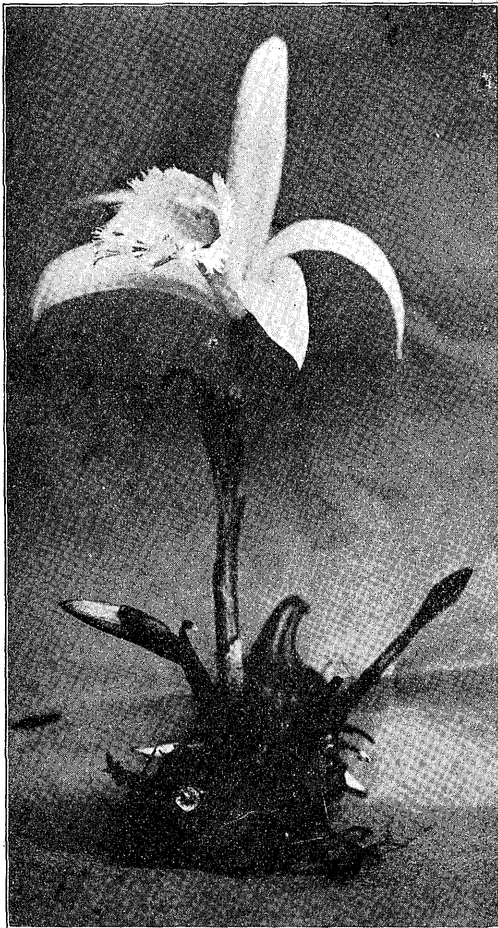


第 19 圖　ツオウ族蕃人（アル寫眞ニヨル）

皆デ大ニ馬力ヲカケテ採集ヲ始メタ。然シコノ珍品ヲ絕滅サセルノヲ恐レテヨイ加減デ採集ヲ切上ゲタ。羊羹ヲ取リソコネテブツブツ云フ人ヤ、ドンナ羊羹ヲ買ハセヨウカト頭ヲヒ

ネル人、何トカ因縁ヲツケテ羊羹ノ幾分カニアリツカウト理窟ヲ並ベル人ナドデソノ騷々シイコト、山ノ神モサゾ驚カサレタコトト思フ。

珍品モ見ツケタシ、明日ハイヨイヨ下山ノ途ニツクノデ荷物ノ整理モシナケレバナラナイノデ採集ハ早目ニ切上ゲテ、途中阿里山高山博物館ヲ見物シタ。コレハ營林所嘉義出張所ノ創設經營ニカヽルモノデ、昭和十年十月ニ始政四十週年記念大博覽會ノタメニ建テタモノノ由デアル。外觀ハ山莊式デ中々感ジノヨイ建物デ、建坪 48 坪餘、內部ハ洋式ノ木造建築デアル。新高山ト阿里山ノ自然界ヲ示ス植物腊葉、剝製、昆蟲標本、岩石鑛物、高山氣象臺出品ノ雲ノ寫眞等ガアリ、更ニ營林事業上ノ記錄、圖表、模型、機械用具等ガ陳列サレテアル。タヾ惜シムラクハ見物人ノ少イタメト、經費ノナイタメニ特別ノ事情ノナイ限リ閉鎖サレテヰルノデ濕度ノ高イタメニ陳列品ノ大半ハかびデ傷ツケラレテヰタ。之ニ反シテ外ニアル附屬植物園ノ方ハ手ガヨク屆クトミエテ中々成績ガヨク、「ロツク・ガーデン」ニハ新高山產ノ高山植物ガヨク育ツテヰタ。



第 20 圖 臺灣阿里山ニ產スルひとつばらん (ホヾ自然大)

5ﾞ?五日間ニワタル阿里山頂ノ生活ニ別レヲ告ゲテ二十六日ニイヨイヨ下山ノ途ニツイタ。神木驛カラ乘車シテ十一時過ギニ十字路驛ニツイタ。此處デ途中下車シ、コノ附近デ採集シテ一泊シ明朝ハ次驛ノ哆囉嘕マデ徒步デ採集シナガラ下リ、ソコカラ乘車シテ嘉義ニ下ルト云フ豫定ヲタテタ。コノ豫定ハ正シク實行サレタガ地衣ハ實ニ少カツタ。蕃社ヲ眼下ニ見渡シ、純情愛スベキ蕃童ト二三ノ言葉ヲ交シタコトガ最大ノ獲物ダツタカモ知レナイ。

此處デハ宿屋ナドハ無論ナイノデ、驛前ノタヾ一軒ノ店ニ泊メテモラツタ。婆サンハ藤崎氏ト顏馴染ト見エテ中々待遇ガヨカツタ。コノ店ノ帳場ニ見慣レヌ蘭ガアルノデヨクヨ

ク見ルトコレガ有名ナたいりんときさう (*Pleione formosana* HAYATA) ダト云フ。コノ蘭ハ阿里山附近ノ溪谷斷崖ニ苔ノ間ニ生ズルモノデ、一株ニ葉ガタヾノ一枚シカツカヌノデひとつばらんト云フ別名モアル。花ハ實ニ艷麗ヲ極メタモノデアル。

二十七日ハ早朝カラ家人ノ朝飯ノ支度ノ物音ニ夢ヲ破ラレ、身仕舞モソコソコニ起出テ出發シタ。線路傳ヒニ哆囉嗎マデ下ツタガ、朝比奈博士ガ採集ニ見エラレタ頃トハ情況ガ全ク一變シテ、滿目タヾ植林シタすぎノ若木バカリデ地衣ハサツパリ駄目ダツタ。營林所ノ作業所ニ休マセテモラツテ數日分ノ内地ノ新聞ヲ讀ミフケツテ汽車ヲ待ツタ。

汽車ハ勢ヨク下ツタ。私ノ採集旅行モ峠ヲ越シテ下リニカヽツタワケダ、下リハ早イ。人並ニヤツパリ東京ガ戀シクナツタ。誰ガ居ルカラツテ云フワケデヤナイ、タヾ明ルイ電燈ノ下デ好キナ本ガ讀ミタクナツタノデアル。

麓ノ嘉義ニツイテ荷物ヲ發送シテ俱樂部ニ戻ツテ小憩シタラモウ薄暗クナツテキタ。夕飯ハ藤崎氏ノ御好意デ臺灣名物ノ豚肉ノすき燒ヲ御馳走ニナツタ。山旅ノ疲勞ト、目的ヲ果シタ心安サトデソノ夜ハグツスリ眠ツタ。ソシテ翌日モ決シテ早起キトハ云ヘナイ頃ニ起キタ。所長サンニオ禮トオ別レヲ申上ゲテカラ急行列車デ北上シ、再ビ臺北ニツイタノハ二十八日ノ午後三時過ダツタ。

臺北マデ無事ニ辿リツクトホツト安心シタ。アトハ何時デモ簡單ニ內地ニ引揚ゲラレルカラ。二日間ヲ臺北帝大デ標本ノ乾燥整理ニ費シタガ、マダ豫定ノ便船ノ出帆マデハ間ガアルノデ臺北ノ郊外ニアル草山溫泉ニ旅ノ垢ヲ流シニ行ツタ。氣ノ利イタ設備ノアル公衆浴場ナドガアツタガ若イ者ガ一人デ泊ルニハ餘リニ退屈ナ所ダツタノデ附近ノ森ノ中ニハイツテ二三ノ地衣ヲ採集シ、北投溫泉ヲ廻ツテ臺北ニ戻ツタ。

北投•草山兩溫泉ニ泊ルカハリニ蕃地ニ湧出タ烏來溫泉ニ一泊旅行ヲ試ミタ。タヾ一人デ蕃地ニ入ルコトハ最初ハ何カ心配ナヨウナ氣モシタガ、大シタコトモアルマイト雨ヲ冒シテ出カケタ。萬華驛カラ機動車デ新店マデ行キソレカラ徒歩三里。採集ヲシナガラブラブラ歩クニハ丁度手頃ノ距離ダツタガ、雨ガ本降リニナツタノデ途中カラ臺車ニ乘ツタ。コノ道ハ一寸臺灣トハ思ヘナイ程內地ラシイ景色ヲシテヰル。溫泉ハ臺北州ノ經營デ內地人ガ管理シテヰル物靜ナ感ジノヨイ所ダツタ。溪流ノ音ニカスカナ鄉愁ヲ感ジナガラ一夜ヲアカスト空ハスツカリ晴上ツテ、蕃童教育所ノ國旗ガ朝日ニカヾヤイテヰタ。蕃社ノ風景ヲ數枚撮ツテ歸路ニツイタ。イヨイヨ最後ノ採集デアル。ヨク手入レサレタ蕃社ノ道ヲタヾ一人歩キナガラはなごけ屬ノ地衣ヤせんにんごけ屬ノ地衣ノ一寸變ツタモノヲ見ツケタ。

途中デ內地人ノ巡査ニ出會ツタノデ道案內ヲシテモラヒ新店マデ辿リツクト臺北行ノ自動車ガ折ヨク準備サレテヰタノデ早速乘ツテ二時過ニハモウ臺北ニ着イタ。ソシテソノ翌日ニハモウ內地ヘノ連絡船ノ客ニナツテキタ。

私ノ今回ノ旅行ハマヅ大體ニ於テ成功デアツタ。臺北ニ少シ長ク滯在シスギタ傾向ハアルガ、先ヅ採集ト見物トヲ程ヨクマゼテ臺灣ノ地衣植物相ヲ概觀シ若干ノ新シイモノヲ發見シ、又臺灣トハドンナ所カト云フ見物モ人並ニヤツテノケタ。然シコレハスベテ好意アル諸

先輩並ビニ官廳ノ方々ノ御配慮ニヨルモノデ、阿里山採集ニ際シテ嘉義營林所出張所ノ方々、又臺北デハ私ノ爲ニ一夕ノ宴ヲ張ツテ歡迎シテ下サツタ臺北帝大理農學部ノ植物學教室ノ諸先輩、臺南ノ見物ニ便宜ヲ與ヘラレタ庄司氏、溪頭ノ採集デハ東京帝大臺灣演習林ノ職員諸氏、其他色々ナ方面ノ方々ニ非常ニ御厄介ニナツタノデ此處ニ厚ク御禮ヲ述ベル次第デアル。（完）

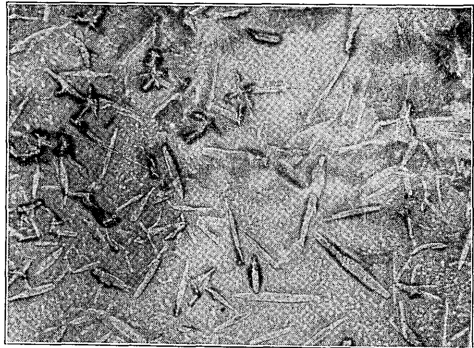
○再ビよこぐらのきノ産地ニ就キ述ブ

本誌 XII 卷 p. 140 デよこぐらのきノ北限ノ產地ニ關スル無名氏ノ通信ヲ披露シテ置イタラ。東大農學部森林利用學教室ノ猪熊農學士カラ次ノ様ナ知ラセガアツタカラ玆ニ報告スル。恐ラク福岡ノ無名氏ガ笑フコトダラウ「ヨコグラノキの產地のことが出てゐましたが、昭和九年三月の「山林」第一六號 p. 132 に同じ個所のヨコグラノキの記事が出てゐます、そして同地に檢出した齋藤氏は「牧野博士の鑑定を得てゐると」書いてあります」云々

（久内清孝）

○やどりぎノ果實ニ Inositol ガアル

昭和十年ノ春やどりぎ (*Viscum coloratum* NAKAI var *lutescens* MIYABE) ノ果實ヲ載物硝子上デ潰シテ、之ニ偶然强酒精ヲ滴下シテ檢鏡シテ居タラ寫眞ノ様ナ結晶ガ澤山出現シタノデ面白クナリ、色々調ベテ見タラ M. W. ONSLOW 氏ノ Plant Biochemistry p. 120 ニ Inositol is widely distributed in plants, ... It has been isolated from leaves of the Walnut (Juglans regia), fruit of the Mistletoe (Viscum album) ...... Inositol is soluble in water but crystallizes out on adding strong alcohol. ト書イテアツタ。從ツテ西洋やどりぎニモ邦產ノモノニモ之ガアルコトガ判ツタ、依テ之ハ demonstration 用トシテヨイ材料ダト思ツタガ西洋ノやどりぎト日本ノモノトハ兎ニ角區別サレテ居ルノデ此ノ事ヲ藥學士野々村進氏ニ依頼シテ檢討シテ貰ツタラ普通ノやどりぎニモあかみのやどりぎ (*V. coloratum* var. *rubro-aurantiacum* MIYABE) ニモ其存在スル事ガ判明シタ。オカゲデ洋ノ東西ヲ問ハズやどりぎノ果實中ニハ容易ニ檢出シ得ルいのじつとガアル事ニナツタ。冬ノ室內ノ顯微鏡遊ビノ話題トシテ報ジテオク。



やどりぎノ果肉中ヨリ結晶サセタ Inositol. Crystals (Inositol) obtained from the fruit of the Japanese mistletoe.

（久内清孝）

○あんにんノ鹽漬ケ

余ハ昨年ノ正月、友人デ越後ノ產デアル某氏カラ越後ノ長岡デハあんにんト云フ果實ヲ